

民間ネット調査「水環境に関するアンケート」（令和４年９月実施）の結果

○調査目的

大阪市では、2021 年３月に大阪府と共同で策定した「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画に基づき、あらゆるステークホルダーとの連携のもと、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が掲げる「2050 年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染ゼロ」の実現に寄与するとともに、2019 年 12 月に新たに策定した「大阪市環境基本計画」の、水分野の個別計画としてSDGsの達成への貢献をめざしております。

そこで、市民のみなさまが大阪市の水環境に関して、どのような意識や考えをお持ちになっているのかをお聞きし、2025 年度を目途に予定している本実行計画の中間見直しの参考とするため、今回の調査を実施しました。

○調査期間

令和４年９月８日から９月 12 日

○調査内容

- (１) 大阪市の水環境について
- (２) 水辺の施設・空間について
- (３) 海洋プラスチックごみ問題について
- (４) まちなかや川や大阪湾でのプラスチックごみの状況について

○回答構成

- (１) 有効回答数 500 回答（100％）（調査対象 500 人）
- (２) 回答者属性

年代別	29 歳以下	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳以上	合計
調査対象数（人）	85	75	85	80	175	500
割合（％）	17.0	15.0	17.0	16.0	35.0	100.0

地域別	中心	西部	北部	東部	南部	合計
調査対象数（人）	130	59	80	115	116	500
割合（％）	26.0	11.8	16.0	23.0	23.2	100.0

【地域別】

中心ブロック：北区・福島区・中央区・西区・天王寺区・浪速区

西部ブロック：此花区・港区・大正区・住之江区

北部ブロック：西淀川区・淀川区・東淀川区

東部ブロック：都島区・東成区・生野区・旭区・城東区・鶴見区

南部ブロック：阿倍野区・住吉区・東住吉区・平野区・西成区

※本調査結果についての留意事項

- ・質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
- ・数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入で算出しています。
したがって、内訳の合計が全体の合計に一致しないことがあります。
また、複数回答の質問については、該当者数を母数に比率表示しています。

〔参考〕

(1) 令和3年度に実施した民間ネット調査

調査対象：大阪市内に居住している外国人登録者を含めた18歳以上の大阪市民
500人

調査期間：令和3年9月9日から9月10日

調査内容：(1) 大阪市の水環境について
(2) 水辺の施設・空間について
(3) 海洋プラスチックごみ問題について
(4) まちなかや川や大阪湾でのプラスチックごみの状況について

有効回答数：500回答(100%)

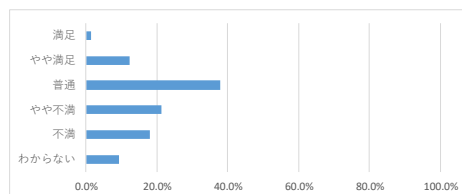
○結果概要

Q 1. <水環境への満足度>

大阪市の水環境の状況に関する次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。あてはまるものを1つお選びください。

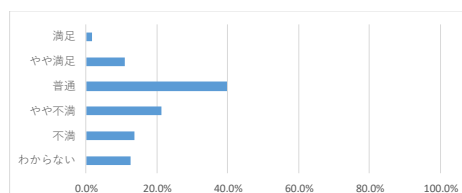
①川や海の「水のきれいさ（見た目やにおいなど）」（水質）

	回答数	比率
1 満足	7	1.4%
2 やや満足	61	12.2%
3 普通	190	38.0%
4 やや不満	106	21.2%
5 不満	90	18.0%
6 わからない	46	9.2%
回答総数	500	100.0%



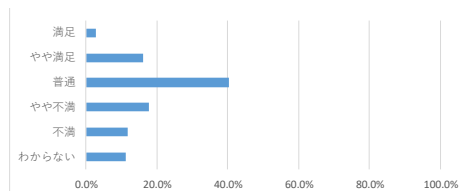
②川や海などの水辺に生息する「鳥や魚、虫、草木などの生き物の豊かさ」（生物多様性）

	回答数	比率
1 満足	8	1.6%
2 やや満足	55	11.0%
3 普通	199	39.8%
4 やや不満	107	21.4%
5 不満	68	13.6%
6 わからない	63	12.6%
回答総数	500	100.0%



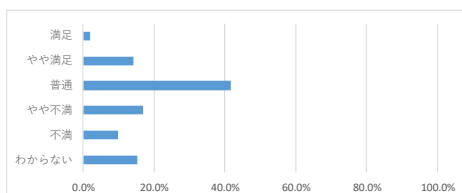
③水辺空間（＊1）に対する「親しみやすさ」（ハード面での快適性）

	回答数	比率
1 満足	14	2.8%
2 やや満足	80	16.0%
3 普通	202	40.4%
4 やや不満	89	17.8%
5 不満	59	11.8%
6 わからない	56	11.2%
回答総数	500	100.0%



④水辺空間で開催されるイベント等での「にぎわいの楽しさ」（にぎわい）

	回答数	比率
1 満足	10	2.0%
2 やや満足	71	14.2%
3 普通	208	41.6%
4 やや不満	85	17.0%
5 不満	49	9.8%
6 わからない	77	15.4%
回答総数	500	100.0%

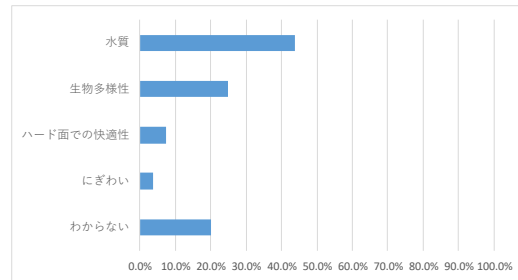


「満足」、「やや満足」と回答した方は全項目で 10%台であるが「普通」と回答した方を加えると 50%台を超える結果となっている。一方で「やや不満」、「不満」と回答している方は全項目で 20%を超えている結果となった。

Q 2. <水環境改善に向けた必要事項>

大阪の水環境をさらに改善していくために、あなたはどの項目が一番必要だと思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

			回答数	比率
1	川や海の「水のきれいさ（見た目やにおいなど）」	水質	219	43.8%
2	川や海などの水辺に生息する「鳥や魚、虫、草木などの生き物の豊かさ」	生物多様性	124	24.8%
3	水辺空間に対する「親しみやすさ」	ハード面での快適性	37	7.4%
4	水辺空間で開催されるイベント等での「にぎわいの楽しさ」	にぎわい	19	3.8%
5	わからない	わからない	101	20.2%
回答総数			500	100.0%



40%以上の方が水質、20%以上の方が生物多様性との結果となった。

Q 3. <水質改善に必要な事項>

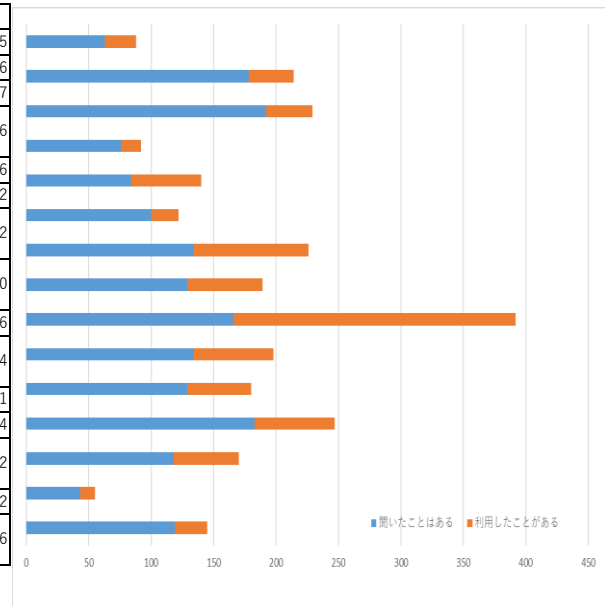
大阪の水環境の改善のためには、どのようなことが必要と考えていますか。ご自由にご記入ください。

主な意見として、「一人一人の意識・個人の自覚・マナー向上等」が14件、「ごみを出さない・捨てない等」については70件、「生活排水・工場排水の改善等」については21件、「水質の改善等」については17件、「掃除・回収等」が10件であった。一方で「特になし・わからない・思いつかない」は131件、無回答は55件であった。

Q 4. <水辺施設を利用した市民の割合>

あなたは（最近5年間に）次の水辺の施設・空間を利用したことがありますか？また、ご存じですか？あてはまるものをすべてお選びください。

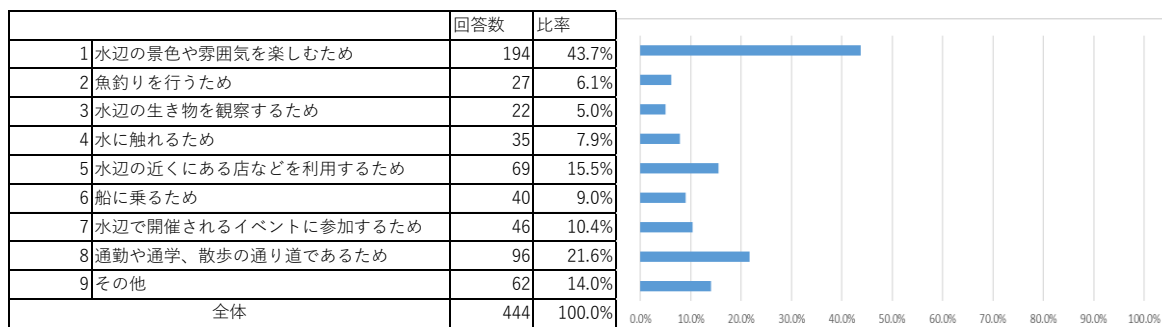
		聞いたことはある	利用したことがある
1	大川ふれあいの水辺	63	25
2	大阪南港釣り公園	178	36
3	大阪北港マリーナ	192	37
4	下水処理場のせせらぎ（大野、放出、平野の各下水処理場に設置）	76	16
5	城北川遊歩道	84	56
6	タグボート大正	100	22
7	築港と天保山（中央突堤やサンセット広場（マーメイド像））	134	92
8	とんぼりリバーウォークと湊町リバープレイス	129	60
9	中之島公園	166	226
10	南港の海浜緑地（野鳥園臨港緑地、シーサイドコスモ）	134	64
11	船着き場（川の駅など）	129	51
12	大阪港や市内河川のクルーズ船	183	64
13	舞洲の磯・緑道と大阪まいしまシーサイドパーク	118	52
14	矢倉緑地公園	43	12
15	淀川の干潟（柴島干潟、十三干潟、城北ワンド）	119	26



「中之島公園」については約8割の方が聞いたことはある若しくは利用したことがあると回答している。次いで「大阪港や市内河川のクルーズ船」が約5割であったが、それ以外の施設・空間については5割に満たない結果となっている。

Q5. <水辺の施設・空間の利用目的>

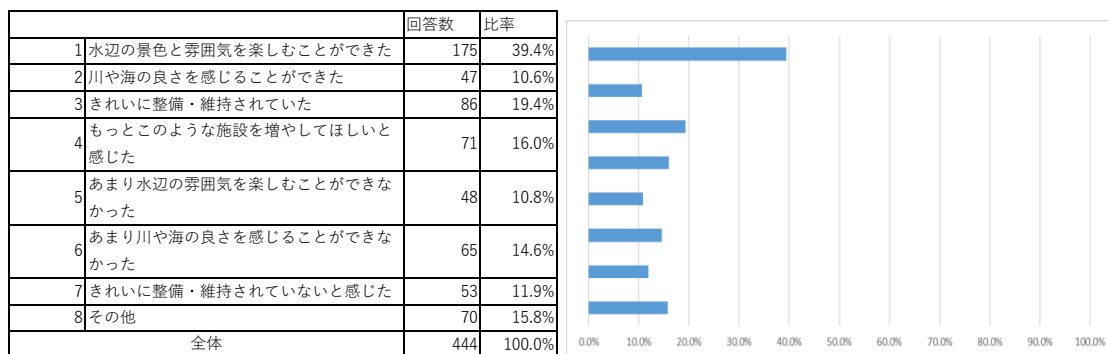
Q4で回答いただいた、あなたが利用した水辺の施設・空間について、どのような目的で利用しましたか。以下の選択肢よりあてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない理由により水辺の施設・空間を利用した場合は、「その他」に利用した理由をご記入ください。



4割以上の方が「水辺の景色や雰囲気を楽しむため」と回答しており、次に多かったのは「通勤や通学、散歩の通り道であるため」で約2割であった。

Q6. <水辺の施設・空間を利用した感想>

Q4で回答いただいた、あなたが利用した水辺の施設・空間について、利用した感想はどうでしたか。以下の選択肢よりあてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない感想がある場合は、「その他」に感想をご記入ください。



「水辺の景色と雰囲気を楽しむことができた」や「きれいに整備・維持されていた」など肯定的な回答が「楽しむことができなかった」や「良さを感じることができなかった」といった否定的な回答を上回る結果であった。

Q7. <希望の水辺の施設・空間>

大阪市には今後どのような水辺の施設・空間があればいいと考えていますか。ご自由にご記入ください。

「広場・公園等」が12件、「子供が楽しめる場所・安全に遊べる場所等」が12件、「釣り堀・釣り公園等」が5件、「レストラン・カフェ等」が15件、「水族館」

が3件であった。一方で「なし・わからない・思いつかない」といった回答が182件、無回答が99件であった。

Q8. <参加を希望する水辺空間を利用したイベント>

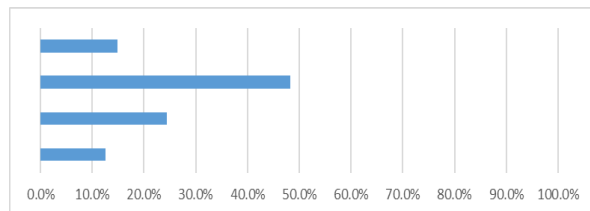
大阪市において、今後どのような「水辺空間を利用したイベント」を開催すれば、参加したいと思われますか。ご自由にご記入ください。

「釣り大会・釣りイベント等」が5件、「花火大会等」が10件、「子供が楽しめるイベント等」が8件、「お祭り等」が7件、「音楽イベント等」が3件であった。一方で「イベント不要・参加したくない・わからない・思いつかない」といった回答が214件、無回答が109件であった。

Q9. <海洋プラスチックごみ問題について関心度>

あなたは海洋プラスチックごみ問題について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

	回答数	比率
1 とても関心がある	74	14.8%
2 ある程度関心がある	241	48.2%
3 あまり関心がない	122	24.4%
4 全く関心がない	63	12.6%
全体	500	100.0%

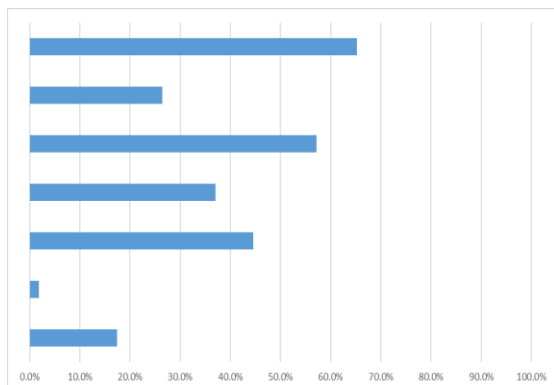


「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方が6割強に上り、「あまり関心がない」、「全く関心がない」と回答した方を大きく上回る結果であった。

Q10. <海洋プラスチックごみ問題について関心度>

海洋プラスチックごみについてどのようなことを知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない内容がある場合は、「その他」にご記入ください。

	回答数	比率
1 川や街でポイ捨てされたプラスチックごみが海に流出している	326	65.2%
2 海洋プラスチックごみが魚と同じ量にまで増加してしまう可能性がある	132	26.4%
3 海の生き物や鳥がプラスチックごみにより、傷ついたり死んだりしている	286	57.2%
4 一度海に流れ着いたごみの回収や処理は困難である	185	37.0%
5 小さなプラスチック（マイクロプラスチック）が問題となっている	223	44.6%
6 その他	9	1.8%
7 わからない	87	17.4%
全体	500	100.0%



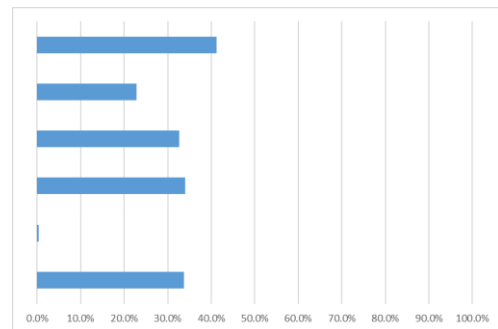
6割以上の方が「ポイ捨てされたごみが海へ流出している」ことを知っており、6割近くの方が「プラスチックごみにより生き物が傷ついている」ことを知っていた。

また、4割以上の方が「マイクロプラスチック問題」を認識しており、4割弱の方が「流れ出たごみの回収・処理が困難である」ことを知っている結果となった。

Q11. <マイクロプラスチックが起こす問題の認知度>

「マイクロプラスチック」についてどのようなことを知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない内容がある場合は、「その他」にご記入ください。

	回答数	比率
1 5ミリメートル以下の小さなプラスチックである	206	41.2%
2 歯磨き粉などに含まれる研磨剤のように、小さい状態で工業生産されるものがある	114	22.8%
3 大きなプラスチックが紫外線や波などにより、細かく砕けて発生するものがある	163	32.6%
4 水環境中に存在する有害物質を吸着することにより、海の生き物や人体に害がおよぶことが懸念されている	170	34.0%
5 その他	2	0.4%
6 わからない	169	33.8%
全体	500	100.0%



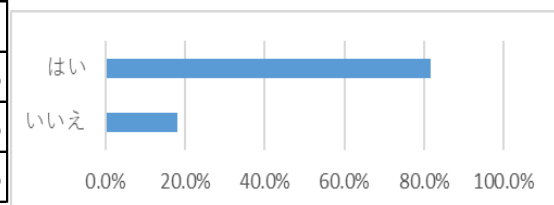
マイクロプラスチックの定義である5ミリメートル以下ということは4割以上の方が知っており、その発生工程や生態系へ及ぼす影響については3割以上の方が知っていた。一方、分からないと回答した方も3割以上いる結果であった。

Q12. <プラスチックごみを削減するための行動>

あなたはプラスチックごみを削減するために次の行動をしていますか？「はい」「いいえ」のうち、よくとっている行動の方であてはまるものを1つお選びください。

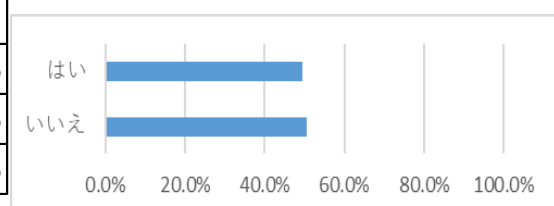
①エコバックを持ち歩いている

	回答数	比率
1 はい	409	81.8%
2 いいえ	91	18.2%
回答総数	500	100.0%



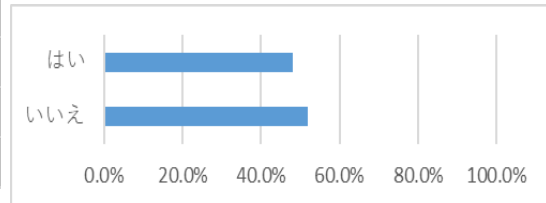
②マイボトルを持ち歩いている

	回答数	比率
1 はい	247	49.4%
2 いいえ	253	50.6%
回答総数	500	100.0%



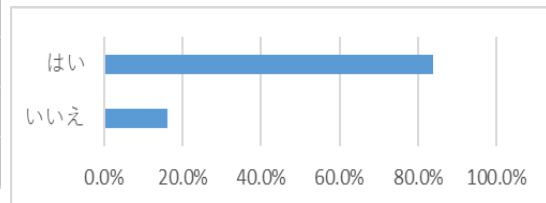
③ワンウェイのプラスチック（ストローやスプーンなど）をできるだけ使用しない

		回答数	比率
1	はい	241	48.2%
2	いいえ	259	51.8%
	回答総数	500	100.0%



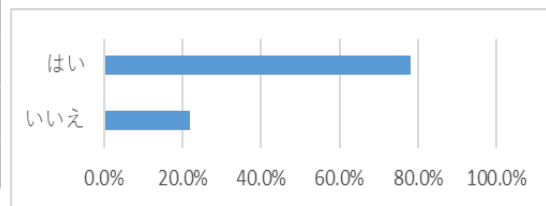
④詰め替え用品を購入している

		回答数	比率
1	はい	419	83.8%
2	いいえ	81	16.2%
	回答総数	500	100.0%



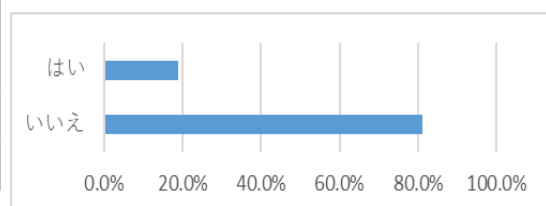
⑤容器包装プラスチックやペットボトルをきちんと分別して廃棄している

		回答数	比率
1	はい	390	78.0%
2	いいえ	110	22.0%
	回答総数	500	100.0%



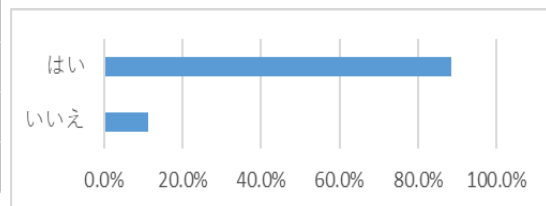
⑥自宅や勤務先周辺などでの地域の清掃活動に参加している

		回答数	比率
1	はい	94	18.8%
2	いいえ	406	81.2%
	回答総数	500	100.0%



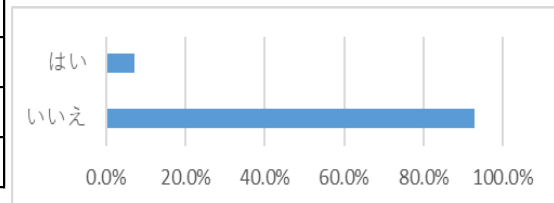
⑦プラスチックなどのごみのポイ捨てをしない

		回答数	比率
1	はい	443	88.6%
2	いいえ	57	11.4%
	回答総数	500	100.0%



⑧プラスチックごみ削減に係るイベント、研修や学習会に参加している

	回答数	比率
1 はい	36	7.2%
2 いいえ	464	92.8%
回答総数	500	100.0%



9割近くの方が「ポイ捨てをしない」と回答しており、8割以上の方が「エコバックを持ち歩いている」、「詰め替え用品を購入している」と回答していた。また8割近くの方が「容器包装プラスチックやペットボトルをきちんと分別して廃棄している」と回答していた一方、「マイボトルを持ち歩いている」、「ワンウェイのプラスチック（ストローやスプーンなど）をできるだけ使用しない」と回答した方は約5割であり「清掃活動に参加している」と回答した方は2割弱、「ごみ削減に係るイベント、研修や学習会に参加している」と回答した方は1割に満たない結果であった。

Q13. ＜参加希望の水辺空間を利用したイベント＞

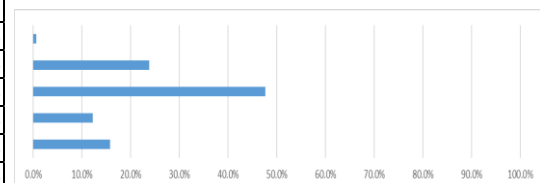
Q12で記載のないプラスチックごみを削減するための行動をしている場合は、その行動内容をご自由にご記入ください。

「ごみの分別等」が28件、「エコバッグ・マイバック・マイボトルの使用等」が13件、「ペットボトル・プラスチック製品を購入しない等」が13件であった。一方で「なし・わからない・思いつかない」といった回答が236件、無回答が147件であった。

Q14. ＜まちなかでのプラスチックごみの状況＞

路上や公園などまちなかでのプラスチックごみの状況について、あてはまるものを1つお選びください。

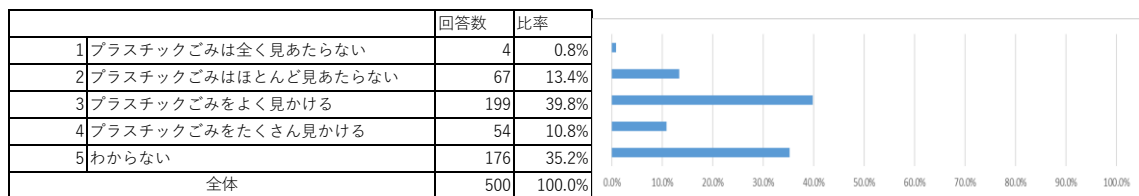
	回答数	比率
1 プラスチックごみは全く見当たらない	3	0.6%
2 プラスチックごみはほとんど見当たらない	119	23.8%
3 プラスチックごみをよく見かける	238	47.6%
4 プラスチックごみをたくさん見かける	61	12.2%
5 わからない	79	15.8%
全体	500	100.0%



「プラスチックごみをよく見かける」、「プラスチックごみをたくさん見かける」と回答した方が約6割であり、「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方を大きく上回る結果であった。

Q15. <川や大阪湾でのプラスチックごみの状況>

大阪市内の川や大阪湾でのプラスチックごみの状況について、あてはまるものを1つお選びください。



「プラスチックごみをよく見かける」、「プラスチックごみをたくさん見かける」と回答した方が約5割であり、「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方を大きく上回る結果であった。

Q16. <プラスチックごみを減らすためにすべきこと>

プラスチックごみを減らすため、どうしたらよいと思いますか。ご自由にご記入ください。

「一人一人が意識する・個人の意識改革」が55件、「ポイ捨てを止める・不法投棄の厳罰化等」が30件、「ごみ箱の設置等」が29件、「分別の徹底等」が18件、「教育」が6件、「違う素材に変える・プラスチックに代わる素材を作る」が5件であった。一方で「なし・わからない」といった回答が106件、無回答が109件であった。